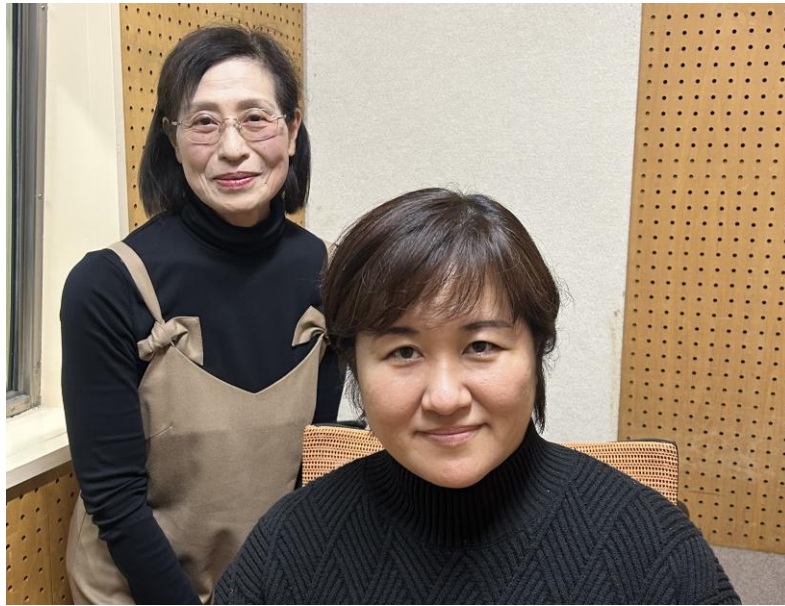


MBC ラジオ『ここが聞きたい！ドクタートーク』2026.1.3

第 1183 回放送分『子どもの精神疾患』1 回目

ゲスト：佐々木 なつきドクター



二見いすず

あけましておめでとうございます。

2026 年もみなさまに役立つ健康情報をお届けしてまいります。

どうぞよろしくお願いいたします。

さて、今月のドクタートークは「子どもの精神疾患」をテーマにお送りいたします。

お話は、鹿児島県医師会 佐々木 なつき（ささき なつき）ドクターです。

佐々木さん、よろしくお願いいたします。

佐々木なつき Dr.

よろしくお願いいたします。

二見いすず

早速ですが今週は何についてお話しいただけますか。

佐々木なつき Dr.

今週は不登校についてお伝えいたします。

二見いすず

ちょうど今は冬休み期間中ですが、

夏休みや冬休みなど長い休み明けは、不登校が増えがちといいますよね。

佐々木なつき Dr.

そうですね。長い休み明けは、生活リズムが崩れてしまうことなどから、学校に行くことをきつく感じる子どもが多いです。

何かが始まる、一歩ふみだすことの大変さがあるのでしょう。

相談としても、休み明けが多い傾向にあります。

二見いすず

ニュースなどでも鹿児島県では公立小中高生の不登校が7年連続で過去最多を更新したと報じられていましたが、どのような理由が多いのでしょうか？

佐々木なつき Dr.

友人関係の悪化や、いじめなども確かに多いですが、理由はそれだけではありません。1対1の対人関係なら大丈夫でも、集団の中にいるときついと感じたり、「勉強や宿題はしないとイケないもの」ということを気にしすぎて、宿題が終わっていないから行けないとか、自分が怒られていなくても、先生が他の生徒を怒っているのを見るのが怖いなど、理由はさまざまです。背景に神経発達症がある場合もあります。

二見いすず

いまお聞きしただけでも、一人ひとりによって本当に理由が異なるんですね。

佐々木なつき Dr.

そうですね。だからこそ相談に来られたときは、その背景にある困りごとを聞くようにしています。不登校というのは、その子が何かしらに困っていて、やっと現れてきた症状なんです。

二見いすず

そうなんですね。不登校ということだけを問題視するのではなく、その根底にある悩みや困りごとに目を向けてあげることが大切なんですね。

佐々木なつき Dr.

はい。お父さんお母さんや学校の先生に伝えたいこととしては、不登校は怠けではないということ。そして「行けないことが良くないことというわけではない」ということです。

二見いすず

そうですね。

佐々木なつき Dr.

相談は親子で来られますが、受診した際は「子ども自身が病院に行きたかったのか？」を確認するようにしています。子どもが困っているかどうかの確認です。そこを意識して話すようにしています。

二見いすず

よく分かりました。

今月は、「子どもの精神疾患」をテーマにお送りしてまいります。

お話は、鹿児島県医師会 佐々木なつきドクターでした。

佐々木さん、ありがとうございました。

佐々木なつき Dr.

ありがとうございました。